

第15回 多久市剣道錬成大会

1月28日(日)中央中学校体育館において、第15回多久市剣道錬成大会が開催された。

まだまだ寒いこの季節の冷たい床の上でも、子どもたちは裸足で寒さにも負けずに機敏な動きを見せていた。

試合は、防具を着けずに基本動作の正確性を競う基本低学年の部門から、年齢別の各部門に分かれ競技が行われた。

参加した選手たちは、日頃の練習の成果を發揮すべく相手のスキを伺いながら、竹刀に力を込めて、威勢よい掛け声に合わせて面や胴、小手などの技を繰り出していた。



☆基本 低学年の部	優勝 泉 孝多朗	2位 安藤 匠海	☆基本 高学年の部	優勝 野田 哲也	2位 増本 翔一
☆小学3・4年生 男女混合の部	優勝 高見 玲菜	2位 北川 真美	☆小学5・6年生 男子の部	優勝 松尾 康之	2位 千葉 礼臣
☆小学5・6年生 女子の部	優勝 稗田 浩世	2位 高見千衣理	☆小学2年生男子の部	優勝 北川 勇太	2位 上戸 雅人
☆小学1年生男子の部	優勝 中村 元気	2位 野口 拓朗	☆中学生女子の部	優勝 牟田 良子	2位 寺崎 夏末

小城高校選抜出場

29年ぶり掴んだ甲子園への切符



出場となる。

午後3時50分過ぎ、吉報を待つ森山校長のもとへ電話が入り「素晴らしい春の切符をありがとございます。大きな喜びの心でお受けいたしました。」と校長の声が、報道陣でいっぱい校長室内に響き渡った。

吉報を受けた野球部員は、すぐさまグラウンドへ駆け出し、監督を2、3回胴上げた後に、秀島主将の掛け声にあわせ部員が空高く帽子を放り投げた。

1月26日、佐賀県立小城高等学校が、第79回選抜高校野球大会への出場校に正式決定した。小城高校の甲子園出場は、28年前の夏の大会の一度のみ。選抜大会は、今回初

校内放送を聞いた生徒

らは、ベランダに出て部員に「おめでとう」と祝福の声を掛けた。

小城高校野球部は、昨秋の県大会で優勝。九州大会では準決勝で敗れたものの、すばらしい試合内容を残していた。

野球部員の中には、多久市出身の選手7名が在籍する。

3月23日から開幕する選抜大会、小城高校の勝利はもとより多久市出身選手7名の活躍にも期待しています。甲子園のアルプスタンドに黄城の旋風を巻き起こせ。

小城高校野球部

多久市出身選手の顔ぶれ



樽岡 裕太
西浜中出身
(明治佐賀)



竹内 佑希
中央中出身
(栄町)



池田 健
中央中出身
(浦山)



出口 雄基
中央中出身
(中の原)



円城寺 悟士
東部中出身
(別府三区)



竹内 翔吾
中央中出身
(栄町)



野田 優
西浜中出身
(藤川内下)